

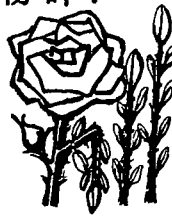
長い国鉄生活、今VNOの力を借り

☆☆☆☆☆☆☆☆

幕張支部は、2月22日千葉市・稲毛亭において今年度勇退する、秋庭、石井、伊藤、石井、鈴木の五氏を送別する会を行った。この会を盛大に成功させるべく、実行委員会を設置し、篠塚寧氏を先頭にして各分科・青年部が一体となって取組んできた。その結果一二一名という多数の組合員が参加し和気合々のうちに、別れを惜しみつつも、「いつまでも労働千葉と一緒に」という変わりない団結と友情を確かめあった。

☆☆☆☆☆☆☆☆

会ひらかれる



幕張支部送

三里塚・ジェット闘争貫徹ノ「国鉄35万人体制」粉碎ノ



職場からの報告

労働千葉の団結をいつまでも見守る

送別の宴は、真藤副支部長の司会で進められた。支部を代表して、白井支部長は勇退者への長い国鉄生活をねぎらう言葉を述べたあと「諸先輩が築きあげた、わが組織・職場を守り更に発展させる為がんばる」という決意をこめた挨拶をおくった。これをうけて勇退者の方々も、「80年代は厳しい時代となるうとしている。みなさんが労働千葉の旗を守り、更に団結を固め奮闘されんことを心から希望し、いつまでも見守っていく」と暖かい挨拶がなされた。

勇退者をかこんで歌に、手拍子、笑い

一二一名も集まると「芸達者」もいるものである。この日のために、練習を積みかさねた組合員が次から次へと登場した。そのために、時間調整にと用意されたかの「有名」な「7分30秒の人」伊藤吉郎氏の「俵屋玄蕃」が待機するが、なかなか出番がこない、やっと最後にマイクが廻ってきたものの、時間がないので4分でチョンノ。会場は、ドット笑いに包まれるノ

このように宴は、歌に、手拍子に、笑いと、勇退者を囲んで進められていった。宴のふん囲気が最高潮に達したところで、若い青年部員から勇退者ひとり一人に「長い間御苦勞様」と心をこめた花束がおくられた。その後、石幡青年部長の音頭で全員がスクラムを組み、天井をつきぬけんばかりと組合歌を合唱。最後に白井支部長の音頭で、会場を揺がす力強い団結がしばらく三唱され、



1980 22 送

宴は盛会裡に終了した。

この送別会の成功こそ、あますところなく幕張支部の団結の強さを示したといえる。

なによりもこの成功をかちとった力は、「本部」革マル反動分子の組織破壊、敵対をはねのけ、三里塚ジェット闘争や諸闘争を闘い抜き、そのなかから培ってきた仲間意識と苦楽を共にした先輩である勇退者の方々への限りない友情のあらわれである。

幕張支部は、この送別会の成功を確認し35万人体制粉碎・三里塚・春闘へと決起していく。

四街道町町会議員選挙
労働千葉推せん候補

公認 社会党

林田和二郎氏を当選